

わたしたちの ごみの未来を 考える

「スリムシティ
さっぽろ計画」案に
ご意見を

毎日の暮らしの中で必ず出るごみ。そのごみのさらなる減量とリサイクルを図るため、市では現在、新たな計画作りを進めています。今回の特集では、ごみの現状と課題をお伝えするとともに、計画案の概要を紹介します。ごみの減量について、皆さんも一緒に考えてみましょう。

このページに関するお問い合わせは
環境事業部計画課 ☎211-2912へ
ごみに関する情報は、ホームページもご覧ください
www.city.sapporo.jp/seiso



うえだ ふみお
札幌市長 上田 文雄

ごみの問題は、わたしたち一人一人の生活にかかわる最も身近な問題です。

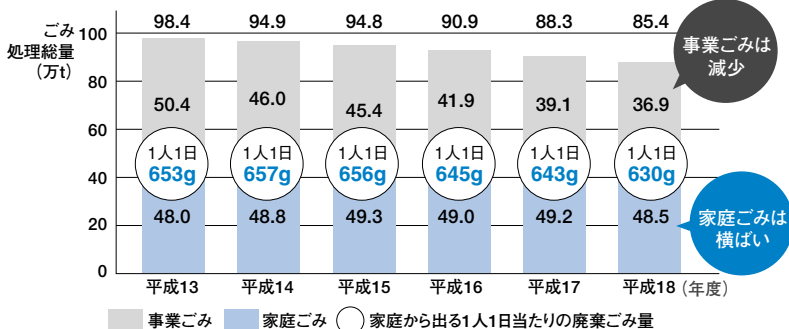
ごみの減量をさらに進めていくためには、自らの課題であることを皆さんにしっかりと認識してもらい、一人一人の力を結集させなくてはなりません。これは、自分たちのまちの課題を自分たちで解決していく「市民自治」の目に見える形での実践といえます。

日本一の環境都市を実現するために、皆さんと一緒にごみ減量の問題に取り組んでいきたいと思っておりますので、ぜひ、たくさんの意見をお寄せください。

現状

年間のごみ処理量は 札幌ドーム約5杯分

平成18年度のごみ処理量は85万4,000トン。そのうち、家庭から出る市民1人1日当たりの廃棄ごみ量は630gで、ここ数年は横ばいを続けています。



ごみ処理費用は年間276億円

この金額は小学校12校分の建設費とほぼ同額。1人当たりに換算すると、年間1万4,700円になります。

埋め立て地の寿命はあと17年

市内には2カ所の埋め立て地がありますが、あと17年で見込みです。

